

■避難行動計画の掲載項目について (1/2)

【凡例】 赤文字：地震 青文字：津波・風水害 緑文字：土砂災害 黒文字：その他全般

項目	第1回策定会議で出された意見（天竜区）	掲載項目（案） ※太文字は、他区の意見を参考に追加	知りたい度			点数	追加したい内容
			A	B	C		
①災害の基礎知識・ 基礎情報	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生に伴う火災 ・降雨量と河川水位の関係（自宅の浸水位） ・各河川の避難水位の明記 ・二俣川、阿多古川の水位（天竜川バックウォーター）の考え方 ・増水した河川に近づかない ・山崩れ・土砂災害 ・山崩れ予兆（大雨時、沢の水が濁る、小石が流れて来るのは山崩れ証拠） ・過去に発生した土砂災害の記録、地名の由来などを若い世代に伝える ・自宅の地盤状況 ・発生が想定される災害の内容と規模 ・倒木被害 	1 地震と津波の発生メカニズムと被害想定 2 洪水のメカニズムと被害想定 3 土砂災害のメカニズムと被害想定 4 過去の災害履歴紹介					
②その他の知識	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の利用方法（開け方） ・備蓄品の種類・量 ・災害時の非常持ち出し品（雨具、手袋、ヘルメット、懐中電灯、長袖、長ズボン、3日分の食料・水など） ・避難所に持参する食料 ・自治会による自主避難 ・水防団の位置確認 ・急病人の対応 	5 普段からの備え（非常用袋準備リストなど） 6 けがの際の救護方法 7 ペットの対応 8 避難所の紹介（場所、設備、備蓄品など） 9 自主防災隊組織の紹介					
③意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路を決めておく ・火災は予防第一、火災報知機と消火器の設置の徹底 ・気象情報や同報無線に対する注意 ・家庭内でリーダーを決める ・早めの避難行動の呼び掛け ・近隣への声掛け（避難勧告時など） ・想定外を想定した対応の必要性 ・1人ひとりが避難所へ行く 	10 各家庭、地域ごとの避難経路設定のすすめ 11 自助、共助の大切さの訴え					
④高齢者・要援護者・ 災害弱者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・独居者世帯の確認 ・要援護者の支援 ・安心キットの活用 ・各家庭玄関に避難所を示す準備あり ・1人暮らし高齢者の避難方法 	12 要援護者などの避難行動（普段からの備え、災害時の対応など）					
⑤情報収集・伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨量の状況や河川の水位状況、河川の氾濫状況等の情報 ・道路（生活道路）の不通情報 ・土砂災害の発生情報（位置、規模、交通の可否） ・気象情報の入手方法 ・どこに、何を連絡すればよいか ・自主防災隊への連絡方法 ・家族との安否確認の方法 	13 自ら災害情報を得る方法 14 家族、仲間などの安否確認方法 15 各種情報の種類（避難勧告・指示の違い、サイレンの種類など） 16 情報伝達体制					
⑥発生前の減災方法	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋の耐震化 	17 家や塀などの耐震化のすすめ 18 家の中の備え（家具固定、家具配置の工夫など） 19 初期消火方法の紹介					

■避難行動計画の掲載項目について (2/2)

【凡例】 **赤文字**：地震 **青文字**：津波・風水害 **緑文字**：土砂災害 黒文字：その他全般

項目	第1回策定会議で出された意見（天竜区）	掲載項目（案） ※太文字は、他区の意見を参考に追加	知りたい度				追加したい内容
			A	B	C	点数	
⑦災害発生後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・地震を感じたら直ちに消火行動 ・自分の身の守り方 ・避難するタイミング（自己判断基準） ・危険な場所には近づかない ・家族の安否確認後は持ち場を離れる ・孤立集落の対応 ・時間帯別（昼夜）の避難行動 	20 とっさのときの身の守り方					
		21 地震や津波の避難のタイミングと行動ポイント					
		22 洪水時の避難のタイミングと行動ポイント					
		23 土砂災害の避難のタイミングと行動ポイント					
		24 帰宅困難者対応の紹介					
		25 外国人の対応（避難方法の周知、意識啓発など）					
⑧防災マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・避難地・避難所 ・身近で安全な場所（家族で共有化） ・長期間の避難を想定した避難所 ・地すべり・急傾斜地崩壊危険区域等 ・道路名称を記載 ・地名の明記 	26 各災害の被害想定（ハザードマップなど）					
		27 各災害の危険箇所（災害履歴など）					
		28 各種避難所、幹線避難路					
		29 防火水槽などの防災設備					
		30 病院、救護所などの医療施設					
31 標高、地形情報など							